

Agri Note 菜園

アグリノート菜園情報

JA福井県

いよいよ梅雨も明け夏本番を迎えます。例年、梅雨明け後は高温となります。2024年の7月22日から8月6日頃にかけての期間は「大暑」といってその字のとおり一年のうちで最も暑い時期といわれています。夏バテや熱中症にならないように、こまめな水分補給や適宜休憩をとるなど体調管理に注意しながら、作業を行いましょう。

1. 生姜栽培

殺菌作用と薬効、消臭など多くの効果があり、栽培の歴史の古い作物です。収穫の仕方を変えることで、初夏から秋まで長い間利用でき、多くの料理を支える万能な野菜です。そして、その栄養価の高さについても多く知られています。

2. 生姜の追肥と土寄せ



追肥

- 1回目 追肥: 草丈15センチ位の時に株間に施用します。
土寄せ: 2-3センチ程度
土寄せ量が多くなると根茎が細長くなるなど形状が悪くなるので注意しましょう。
- 2回目 追肥: 1回目の1か月後に畝肩や通路に施用します。
土寄せ: 5センチ程度
ショウガは乾燥にとっても弱いため、梅雨明け後は敷きわらを厚くします。
- 土寄せ終了後は、塊茎が見えてきたら、その都度土をかけましょう。
- 降雨後、塊茎が見えていないか確認しましょう。



土寄せ

3. 病虫害対策

生姜栽培で特に重要な病害は、根茎腐敗病です。主な発生原因は、前作の罹病した残渣が越冬して土壌伝染します。雨で圃場が浸冠水した場合に多発生しますので、梅雨期などは特に防除の徹底に努めてください。

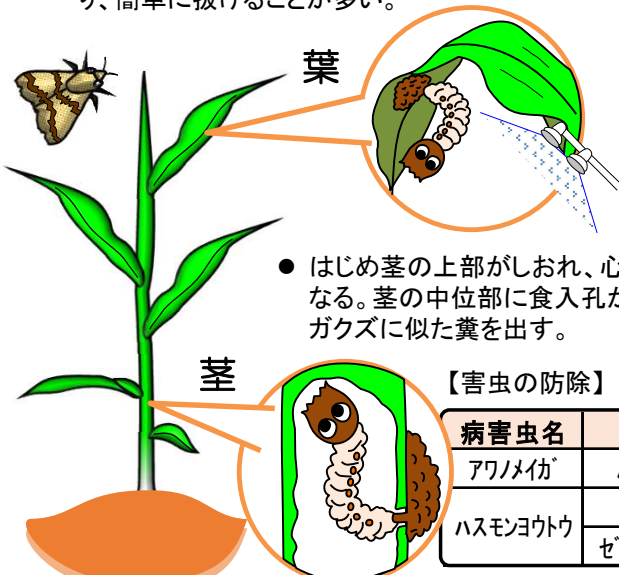
【根茎腐敗病】

発生時期: 梅雨後半～高温多湿条件で発生

- はじめ茎の地際部があめ色に変色し、やがて地上部の葉が黄化して萎凋し枯れる。
- 茎の地際部が軟化腐敗するため、茎が倒れたり、簡単に抜けることが多い。

【根茎腐敗病の防除】

農薬名	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数
ランマンフロアブル	500倍	100-300L/100㎡ (土壌灌注)	収穫30日前まで	3回以内



- はじめ茎の上部がしおれ、心枯れ茎となる。茎の中位部に食入孔があり、オガクズに似た糞を出す。

【害虫の防除】

病虫害名	農薬名	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数
アワノメイガ	パダンSG水溶剤	1500倍	10-30L/100㎡	収穫7日前まで	5回以内
ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1000倍			3回以内
	ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍		収穫前日まで	—

害虫ではアワノメイガの幼虫が茎内に食入して萎れや芯枯れを生じ、多発すると株が枯死します。ハスモンヨトウは8月後半頃より多発します。早期発見と防除の励行が重要になります。

【アワノメイガ】発生時期: 7月下旬～

- 周辺にトウモロコシなどイネ科作物が混在する環境では被害が多くなる。

【ハスモンヨトウ】発生時期: 6月下旬～

- 主に新葉や未展開葉を食害する。若齢幼虫は表皮を残して食害することが多いため、食害された部分は白変する。